

# 災害時に そなえて②

# 非常持ち出し袋を準備しよう

### 非常持ち出し袋の中には何を入れればいいのか？

**水** (みず)

**保存食 (かんパン、缶づめ)** (ぼんしょく)

**ラジオ** (らじお)

**タオル** (たうる)

**軍手** (ぐんて)

**かん電池** (かんでんち)

**かい中電灯** (かいちゆうでんとう)

**そのほかに入れておきたいもの**

救急用具 (ばんそうこう、しつぷ、消毒薬など)、マスク、ビニール袋、ティッシュ、ウエットティッシュ、歯ブラシ、雨具、プラスチックかアルミ製のコップ

※ 袋は専用のものがなければ、じょうぶなリュックサックでも構いません。

### 袋の中にすべて入れ終わったら

持ち運べるかをチェックする

すぐに持ち出せる場所 (まくら元など) に置く

OK

非常持ち出し袋は、探さなければ見つからないような場所ではなく、常に見えるところにおきましょう。

### 中身を定期的にチェックしよう

水や保存食の賞味期限、ラジオやかい中電灯がきちんと使えるかなどをチェックしましょう。

1週間  
チェックしよう!

### 非常持ち出し袋の近くには…

底の厚いくつ (運動ぐつなど)

ヘルメット または 防災ずきん

地震などの災害が、起きたときに備え、災害後に必要になる保存食や水、ラジオなどを非常持ち出し袋の中に入れておきましょう。

非常持ち出し袋に、必要なものを入れて、持ち歩ける重さかどうかをチェックし、災害があったらすぐに外に持ち出せる場所に置きましょう。

水や保存食などは、家族みんなで定期的に賞味期限などをチェックし、常に使える状態にしておきましょう。

水や保存食は非常持ち出し袋に持ち歩ける分だけ入れ、それ以外に数日分の水や保存食を家の中に備えておきましょう。

くつを置くことで、家の中でガラスが割れたときなどに、足にけがをすることなく外に出られます。